



少人数制での音楽教育に適したIT環境を目指し PC端末およびシステム、サーバーを一新 ～学校法人三室戸学園 東邦音楽大学 導入事例～

東邦音楽大学は1938年の創立以来、音楽の分野はもとより各界で活躍する優れた人材を生み出し続けてきた。現在は中学校から大学院までを備え、伝統の音楽教育を提供している。音楽家・教育者として活躍していくためにはITスキルもいまや必須であり、同学ではPC教室最新の設備と改めることで、豊かな学習環境を整備。楽譜作成ソフト「シベリウス」を使用して楽曲作成を行うなど、音楽大学の特性を活かした授業を行っている。

また、新しいカリキュラムへの対応が厳しくなっていた旧システムおよびサーバー環境も刷新した。

■導入前の課題

三室戸学園でも文京・川越キャンパスに単体サーバーを設置して教務・事務系のシステムを運用し、学内にコンピューター教室を設けて地涌行を行って

きていたが、機器やOSが老朽化してきたことから、2012年に文京キャンパス内コンピューター教室の端末システムを刷新することとなった。

■導入経緯

ベンダー3社から見積もりを取り検討した結果、安価な導入価格、および12年来の取引実績績を通じての高い信頼性と多様なニーズ対応力を評価して選定した。

学園のIT関連を担当している担当者は「タブレット端末として音楽ソフトも使用できるタッチパネル型PCを導入したことで、より自由な学び方が可能になったと思います」とのこと。

また学園で使用していた教務・事務系システムだが、こちらは約10年前に導入したもので、近年の新しいコースやカリキュラムへの柔軟かつ迅速な対応が難しくなってきたという。「導入前にはほぼオーダーメイドで作成したもののため、再度カスタマイズするとなるとコストがかさんでしまうという問題がありました。加えて音楽大学は一般大学と比



